

## 公益財団法人第五福竜丸平和協会

### 平成24年度事業報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

当該年度は第五福竜丸建造65周年に当たる。2013年1月25日に第五福竜丸展示館への通算来館者数は500万人に達した。

#### 1. 公益目的事業

##### ア 展示、保存対策

当該年度は、第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き308日開館した。来館者総数は101,831人、うち団体見学数847団体31,537人で、小学校105校6,405人、中学校204校10,827人、高校81校2,305人、他の学校40校1,273人、その他団体417団体10,697人であった。

##### ■海外からの来館者は下記の通りである。

- 4月3日 国際視覚障害者団体11人
- 5月12日 アメリカの大学生18人
- 6月6日 米アラバマ大学言語研究センターKoji Arizumi
- 6月29日 ドイツ反核グループ etehcon10人
- 8月15日 ブラジル被爆者協会3人
- 8月29日 Dave Sweeney（豪ウラン鉱山被曝NGO）（評議員高原孝生氏随伴）
- 10月24日 アメリカ人3人
- 3月2日 Camarin Quitagua（ビキニデー行事参加グアム代表）
- 3月12日 ドイツ放射線防護協会セバスチャン・プフルークバイル会長（岐阜環境医学研究所松井英介氏随伴）
- 3月23日 アンネ・テレ（ノルウェー、アジア文化学者）

##### ■次の方々個人として来館した。

- 6月10日 ドキュメンタリスト瀬戸山玄
- 6月17日 城南信用金庫理事長吉原毅
- 10月21日 藤原新也（作家、写真家）

##### ■大学・研究機関等からの来館

- 7月31日 一橋大学3人
- 9月11日 日本大学国際関係学部（安元ゼミ）9人

10月11日 高校生平和大使 22人  
10月29日 福島県高校生平和ゼミナール 4人  
10月31日 病体生理研究所 8人  
11月18日 恵泉女学園大学（安田和也事務局長学外授業） 45人  
11月21日 恵泉女学園大学 3人  
11月29日 病体生理研究所 15人  
12月13日 白鷗大学 9人  
12月20日 成蹊大学 6人  
1月23日 明治学院大学 6人  
2月10日 横浜国立大学 6人  
2月15日 立教大学 4人  
3月15日 京都教育大学 5人

■生協・医療機関からの来館

4月20日 ちばコープ 44人  
4月29日 東京ほくと医療生協荒川地域 18人  
5月19日 代々木病院新人研修 18人  
6月14日 コープ会津ユニセフ平和委員会 28人  
7月27日 コープとうきょう 46人  
7月28日 パルシステム東京 15人  
9月8日 埼玉医療生協 12人  
9月9日 埼玉医療生協 36人  
9月26日 病体生理研究所 8人  
10月18日 岐阜県民医連  
10月19日 東京民医連 8人  
10月31日 病体生理研究所 8人  
11月8日 川崎医療生協 20人  
11月10日 東都生協 6人  
11月15日 埼玉医療生協 37人  
11月25日 大学生協研修会 63人  
11月28日 神奈川民医連 15人  
11月29日 病体生理研究所研修会 15人  
12月1日 コープぐんま 20人  
12月1日 コープ長野ラブ&ピース 38人

■自治体主催（市民と協働の実行委員会等も含む）による来館

6月26日 武蔵野市平和学 15人

7月5日 佐倉市平和のつどい 3人  
8月25日 滑川町平和をみつめる会 35人  
8月28日 大網白里ピースバス 33人  
9月2日 藤沢市平和の輪 23人  
9月15日 君津市人間と自然を考える会 42人  
9月26日 埼玉比企地区人権協議会 25人  
10月26日 船橋市民大学 14人  
10月28日 東金市社会福祉協議会 41人  
11月10日 平和ネットワーク草加 29人  
11月20日 習志野市市民カレッジ 36人  
11月23日 草津市職員研修

■ 「ラッキー・ドラゴン」を演奏する高校吹奏楽部の来館

6月9日 東金高校吹奏楽部  
7月8日 東海大学附属高輪台高校吹奏楽部

イ 企画展等

当該年度の**第1回企画展**は「建造65年記念 第五福竜丸からラッキー・ドラゴンへ 核なき世界への航海を」で5月3日から7月1日まで行われた。本企画展は江東区の後援を受けた。

この期間、展示館では、甲板上にアトムスーツ人形と竜のドローイングの映像、船と対面するようにラッキー・ドラゴンの映像、ビデオインスタレーションなどが展示され、展示館前の広場には「サンチャイルド」(高さ6メートル余)が特別展示された。

5月13日には関連行事として2台の広島の被爆ピアノ(ミサコのピアノ、カズコのピアノ)によるコンサートが展示館内で開かれた。6月24日には企画展の記念イベントとしてヤノベケンジ(現代アーティスト、京都造形芸術大学教授)、榎木野衣(美術評論家、多摩美術大学教授)によるサンチャイルド・トーク「時代と向き合い生きる・創る」が行われた。ミュージシャンのヤマダタツヤさん、山田杏奈さんによる「ラッキー・ドラゴン」の演奏も行われ、100人が参加した。

**第2回企画展**は「マーシャルは、いま一故郷への道一」と題して10月2日から2013年3月24日まで開催された。

この企画展に先立って、本年2月28日から3月7日までフォトジ

ジャーナリスト島田興生氏を中心にマーシャル諸島共和国へのスタディー・ツアーが行われ、評議員の日塔和彦氏、デザイナーの上浦智宏氏などが参加、元共同通信ホノルル支局長斉藤達雄氏も同行した。続いて6-7月に島田氏は首都マジュロ、島民320人が疎開しているメジャト島、ロンゲラップ島民の故郷ロンゲラップ環礁を訪ね、多くの被曝者を取材した。

11月3日には企画展の記念イベントとして島田興生氏のスライド・トークと講演、続いて名取弘文氏（元小学校家庭科教員、「ナトセンのおもしろ学校」主宰）との対談が行われた。70人参加。

同じく企画展関連イベントとして、2月16日に、1月末にマーシャルから帰国したばかりの池谷千穂さんからマーシャルでの生活やロンゲラップの人々の近況についてのお話を聞いた。

■専門委員豊崎博光氏を中心に、核実験キャッスルシリーズに関する資料を用いた研究会（「キャッスル研究会」）が2012年5月から5回開催された。

主な参加者：豊崎博光、奥山修平、高原孝生、太田昌克（共同通信）、長谷川曾乃江（中央大学講師）、高橋博子（広島市立大学）、新井卓（写真家）、坂田雅子（映画監督）、当法人事務局より安田・市田・中村・蓮沼

#### ウ 巡回展等への協力

展示パネル・資料貸出などで下記の通り協力した。

5月31日～6月2日	横浜大空襲展
6月20日～7月2日	焼津市平和のための戦争展
7月5日～7月12日	喜多方市戦争展
7月7日～7月11日	藤沢市
7月18日～7月23日	原水爆禁止西宮市協議会 2012年度原爆展
7月20日～7月22日	平和を次の世代に伝える佐倉のつどい
7月26日～7月30日	2012 平和のための埼玉の戦争展
7月30日～8月19日	伊東市
7月31日～8月15日	朗読ボランティア千の風（身延町）
8月1日～8月31日	浦安市平和記念事業
8月6日～8月17日	秦野・平和都市宣言につどう会
8月9日～8月12日	しながわ平和のための戦争展

8月9日～8月17日	コープあいち
9月2日～9月12日	東京外語大学展示会
9月10日～9月11日	川越西高文化祭
9月18日	富田林市ヘルスコープ平和展
10月18日～10月25日	昭島市公民館
11月26日	おぎの9条の会
12月3日～12月11日	草加市役所人権共生課
1月30日～2月1日	国連軍縮会議 in 静岡
2月20日～3月15日	土庫病院（奈良）
2月28日	日本生協連

## エ 普及・広報活動

### 主なメディアでの報道

- 5月23日テレビ東京アド街ック天国撮影
- 6月20日朝日新聞「サン・チャイルド」
- 6月23日東京新聞「高さ6.2メートル再生願うアート 第五福竜丸  
展示館前（江東）」
- 8月8日中日新聞「静岡わたしの“世界”遺産 核被害未来へ語る」
- 8月24日東京新聞「被曝、第五福竜丸だけじゃない 江東の展示館  
監督招きトークイベント」
- 8月24日朝日新聞・川の手版「トークイベント」
- 10月16日毎日新聞「第五福竜丸「館山母港」説」
- 10月29日東京新聞「核に翻ろう 帰島への道 水爆実験から58  
年マーシャルの人々追う」
- 10月29日東急新聞企画展「マーシャルは、いま」紹介
- 1月15日朝日新聞「第五福竜丸、いま語る」
- 1月25日東京新聞「第五福竜丸 来館500万人に」  
静岡新聞「「第五福竜丸」展示 東京・夢の島 入館者500  
万人突破」
- 1月26日東京新聞「来館500万人の第五福竜丸『ビキニと福島はつ  
ながっている』」
- 1月27日朝日小学生新聞「第五福竜丸 原発事故後さらに高まる  
関心」  
静岡新聞「命のため「核」学んで 第五福竜丸元乗組員  
大石さん 半年ぶり手記まとめ講話再開」
- 2月18日朝日新聞「核物質と海・魚 汚染考える講座」

- 2月19日 東京新聞「放射能汚染 海や魚は？ 第五福竜丸被爆から59年」
- 2月25日 静岡新聞「聞きたい 言いたい 第五福竜丸平和協会代表理事 川崎昭一郎さん」
- 3月14日 東京新聞「3・11 後を生きる 非核×芸術案内 逃げずに核と向き合う」
- 3月27日 毎日新聞「だいあろーぐー東京彩人記 第五福竜丸平和協会代表理事 川崎昭一郎さん(80) 放射能被害の歴史伝え」

『東京教育観光マップ』（公益財団法人 東京観光財団）で紹介された。[p 41 「110 第五福竜丸展示館」]

#### 事務局の協力

##### ■安田和也氏の講演・授業等

高円寺上映会（4月26日）、川崎上映会（4月28日）、明治学院東村山中学校（6月7日）、粟津潔マクリヒロゲル展（代官山ヒルサイドテラス、7月21日）、丸木美術館（7月15日）、川崎上映会（7月28日）、身延町（7月29日）、歴史研究会見学会（展示館、8月3日）、埼玉県杉戸町（8月18日）、イベント「第五福竜丸以外の被災船・被災漁民」（8月22日、南海放送・伊東英朗ディレクター）、大阪教組見学会（8月25日、展示館）、千葉県浦安市公民館（8月28日）、西東京市（10月6日）、滋賀県草津市（10月13日）、藤原新也主宰ウェブマガジン「キャット・ウォーク」オフ会（10月21日）、東京外国語大学上映会解説（11月9日）、静岡保育問題研究会（11月11日）、恵泉女学園大学学外講義（11月18日）、民間教育連盟交流研究会（12月3日）、明治学院 広島長崎講座（12月6日）、品川区立貝塚中学校（1月24日）、韮崎中学校（2月8日）、調布9条の会（2月14日）、日本生協連キックオフ集会（2月28日、島田興生）、田園調布学園中学・高等学校（3月5日、大石又七氏サポート、川口重雄）、武蔵野第四中学校（3月12日、大石氏サポート）、深谷シネマ（3月10日）

##### ■市田真理の講演・授業等

三輪田学園中学校（1月24日、大石又七氏サポート）、桐朋中学・高等学校（2月20日、大石氏サポート）、生協パルシステム神奈川ゆめコープ（2月25日）

### 恒例諸行事

・4月7日に「お花見平和のつどい」が開催され、150人が参加した。

・久保山愛吉さんの命日9月23日には久保山忌句会（第32回）、東京原水協「第五福竜丸のつどい」（第26回）、「平和を語る第五福竜丸の集い」（第20回）、「マグロ塚の会9・23平和の集い」の各行事で終日にぎわった。800人が参加した。

・2月23日、東京スポーツ文化館で、3・1ビキニ記念行事として水口憲哉（人と魚と水の研究者、農学博士、東京海洋大学名誉教授）より「ビキニのマグロ、フクシマの海～美味しい魚が食べたい～」と題する講演会を行い80人が参加した。

## 2. その他の事業

当該年度は当法人としての新しい出版物はなかったが、既刊出版物を一定部数販売した。

なお、当法人の専門委員により下記の著書が出版された。

山下正寿『核の海の証言 ビキニ事件は終わらない』（2012年9月、新日本出版社）

中原聖乃・竹峰誠一郎 『核時代のマーシャル諸島』（2013年1月25日、凱風社）

島田興生（写真）・渡辺幸重（文）『ふるさとはポイズンの島—ビキニ被ばくとロンゲラップの人びと』（2012年12月25日、旬報社）

## 3. 法人の管理運営

当該年度に、以下の通り諸会議を開催した。

2012年5月12日	理事会
2012年5月20日	定時評議員会
2013年3月17日	理事会

### 職員の異動

2013年1月1日 市田真理を事務局職員として採用した。

2013年3月31日 安田和也が定年により退職した。

賛助会員等の異動は下表の通りである。

	2012.4.1	2013.3.31
賛助会員 個人	376	361
団体	61	60

	2012.4.1	2013.3.31
ニュース購読会員	66	68